

2022年 ICRC 年次報告書より

FACTS AND FIGURES

数字とグラフでみる ICRC の活動

1日の平均



45,326人

シリア: 衛生環境が整備され、安全な水を受け取りました



3,070人

ソマリア: 食料支援を受けました



2,287人

マリ: 農業で生計を立てるために必要な種子、飼料、農具を受け取りました



80人

アフガニスタン: ICRCが支援する病院で手術を行いました



395人

エチオピア: 身体障がい者向けのリハビリテーションサービスを受けました



3,207人

イエメン: 医療施設で診察を受けました



167人

イラク: 収容所で訪問を受けました



174回

コロンビア: 家族間通話が実現しました



835回

ナイジェリア: さまざまな病気に対する予防接種を実施しました

2022年の活動規模

 **22,562**人

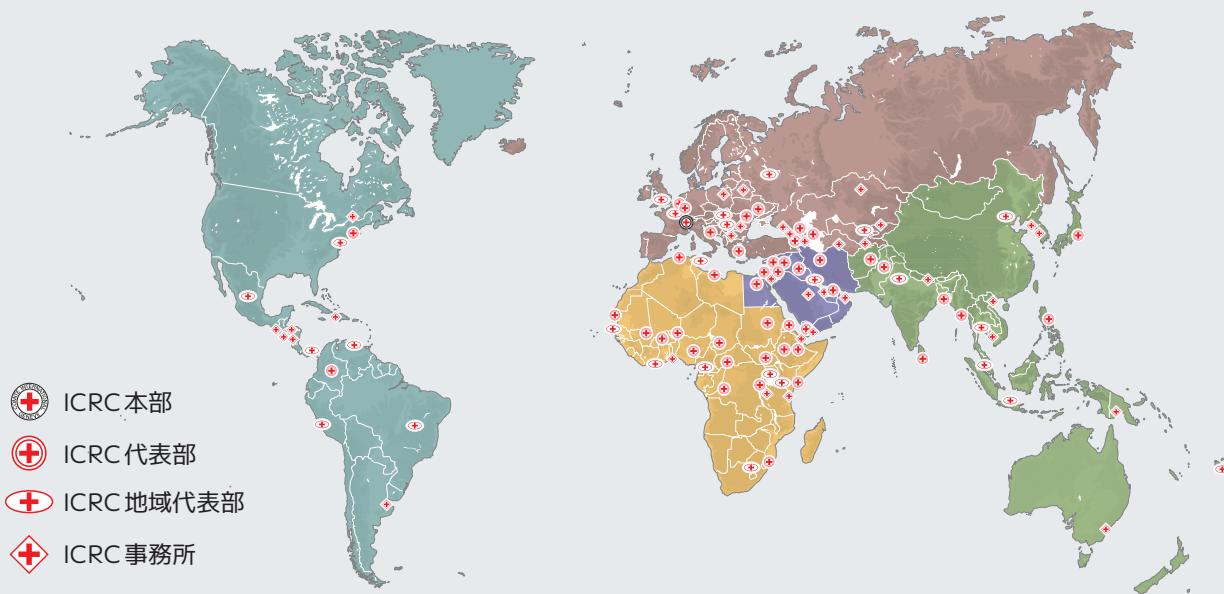
 **105**カ所

ICRCの職員数

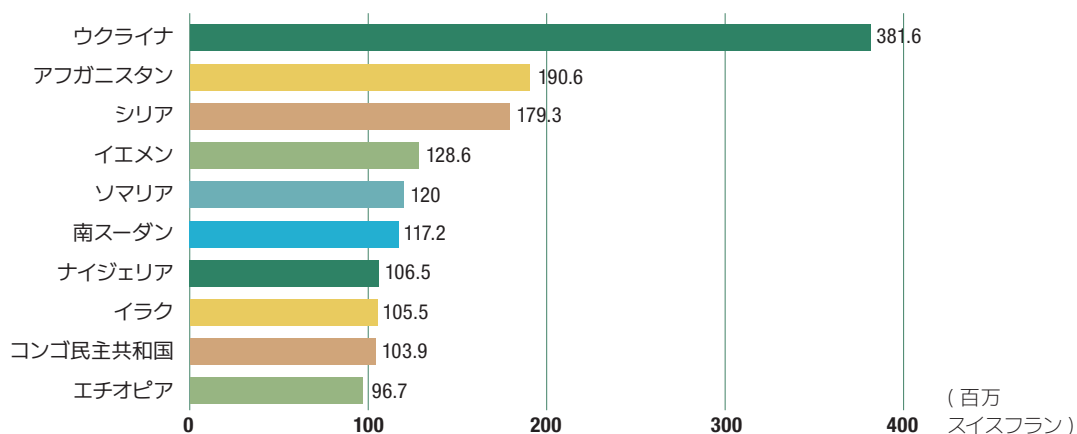
ジュネーブ本部	1,396人
フィールド	21,166人
▪ 現地要員	17,963人
▪ 国際要員	3,203人

地域別 ICRC の拠点数

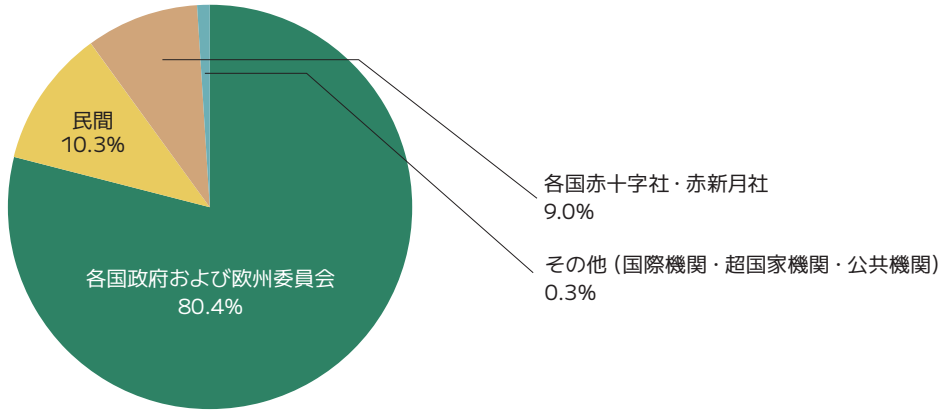
アフリカ	29
南北アメリカ	15
アジア大洋州	20
ヨーロッパ・中央アジア	26
中東	15



活動規模 上位10カ国・地域

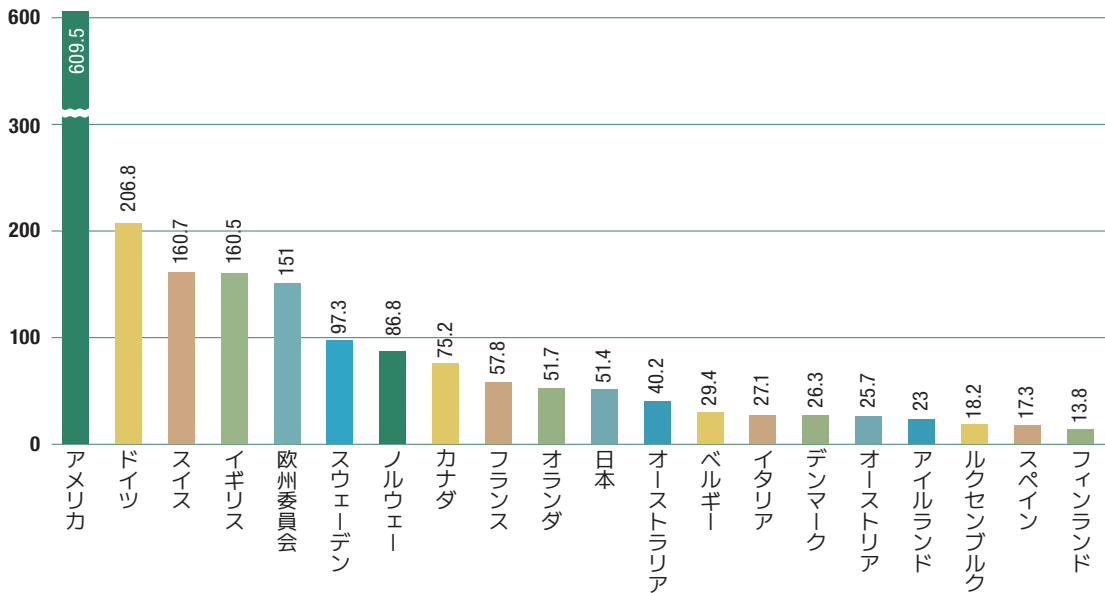


ICRCの資金源



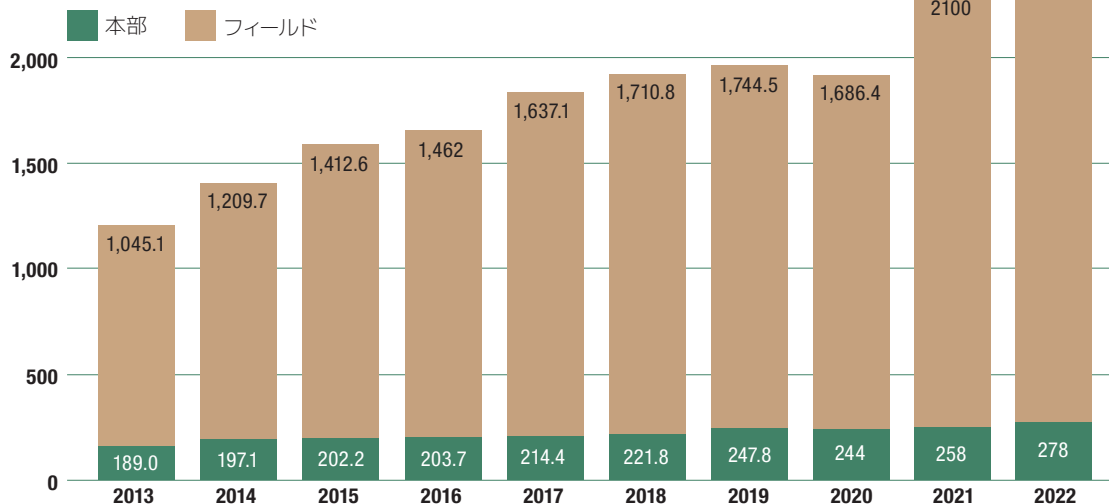
拠出額 上位 20 カ国

(百万
スイスフラン)



過去 10 年の活動費推移

(百万スイスフラン)



1 スイスフラン = 約 163 円 (2023 年 7 月時点)



障がい者支援

322 のプロジェクトを通じて、身体リハビリテーションサービスを 33 万 4,808 人に提供しました。2 万 4,524 の人工装具と 12 万 4,072 の補装具を生産・納品。9,762 の車椅子および姿勢矯正を目的とした補装具のほとんどを現地で生産し、支援対象者に提供しました。



家族の連絡回復・再会支援

15 万 9,265 通 (うち 1 万 5,300 通は被拘束者から) の赤十字通信が寄せられ、12 万 4,550 通 (うち 8,831 通は被拘束者宛) を届けました。武力紛争やその他暴力を伴う事態や、移動・移住、拘束などに伴い離散した家族に対し、204 万 4,749 件の家族間通話を支援しました。また、ICRC は保護者がいない、あるいは保護者と引き離された子ども 2,955 人 (うち 1,126 人は女兒) を登録。その中には元子ども兵士 131 人も含まれます。2,955 人のうち、957 人が家族との再会を果たし、10,332 人の消息や安否が判明しました。



水と暮らし

5,335 万 2,238 人が家事や灌漑、飲み水として利用する安全な水へのアクセスを確保し、劣悪な衛生環境による健康被害へのリスクを低減、全般的な生活の質の向上にも繋がりました。そのうち 5,298 万 6,519 人は国内避難民、難民、帰還者、地元住民で、36 万 5,719 人は被拘束者でした。また、ICRC による医療施設やリハビリ施設の建設・修復工事により、5 万 5,327 床に相当する医療サービスが向上しました。



武器汚染処理

地雷や不発弾のある 52 の国や地域で暮らす人々を支援。特に地雷については、爆発の危険性や安全にまつわる教育活動や、関連データの収集および分析、除去活動、地元の地雷撤去グループへのトレーニングなどを実施。国連や NGO とも協力して地雷対策を強化しました。



医療支援

706 力所の病院を定期的または一時的に支援。そのうち 114 の病院で、武器で負傷した 1 万 2,072 人と妊産婦 7 万 6,303 人を診療し、20 万 2,699 件の外科手術を行いました。支援した 786 のプライマリヘルスケア施設では、957 万 5,835 件の治療相談に対応し、1 年間で 3,130 万 8,523 人が利用しました。また、戦闘下での悲惨な体験からくる心理的負担を緩和するため、4 万 1,180 人の民間人、2,392 人の被拘束者が心のケアを受けました。さらに、被拘束者の健康状態を確認し、335 の収容所で医療品・器具の提供などの支援も実施。被拘束者を迅速に治療できるように、収容所内に 174 の医療設備を導入しました。加えて、各国赤十字社、赤新月社に対して、2,556 件の応急手当トレーニングを実施。ボランティアを含む参加者は、月平均で 58,853 人でした。



生計の安定

社会的に弱い立場にある個人や家庭、コミュニティの経済的安定を目的とした支援を行いました。国内避難民をはじめ、支援の届きにくい遠隔地に暮らす人々など 601 万 2,472 人に食料を配付。535 万 8,531 人に衛生用品一式や生活必需品を提供しました。809 万 3,176 人が自活・自給に向けた食料生産のための支援を受けました。さらに、7 万 1,023 人が自活や就労機会の確保を目的とした職業訓練を受け、177 万 8,584 人へ家計の保護・強化を目的とした現金給付を含む収入支援を行いました。



被拘束者の訪問

77 の国や地域にある 916 の収容施設において、81 万 5,117 人の被拘束者を訪問し、2 万 8,672 人と個別に面談を行いました。うち 1,418 人が未成年、2,414 人が女性、1,602 人が民間人でした。個別面談を行った 2 万 8,672 人のうち、新規で訪問・登録したのは 1 万 4,995 人でした。

ICRC 駐日代表部からのお知らせ

[E-newsletter](#) を無料購読しませんか? 世界 100 개국で活動する ICRC の現場から届いた最新ニュースをはじめ、話題のトピック、日本におけるイベント、スタッフ募集などの求人情報を月に一度、日本語でお届けします。日本の外でどんなことが起こっているか、私たちの活動を通じて知っていただき、世界の生きる力を支えるために何ができるのか、一緒に考えていただければ嬉しいです。



ICRC

赤十字国際委員会 駐日代表部

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-36

レジデンスバイカウンテス #320

Tel: 03-6628-5450

Email: tok_tokyo@icrc.org

jp.icrc.org

EVEN WARS HAVE LIMITS

戦争とはいえ、やりたい放題は許されない



facebook.com/ICRC.jp



twitter.com/ICRC_jp